

東武動物公園 ニュースリリース

動 28-11 号
平成 28 年 10 月 31 日

白い天使に会いに来てね！

アビシニアコロブスの赤ちゃんが生まれました。

東武動物公園(東武レジャー企画(株)、埼玉県宮代町、社長:日置岳人)では、平成 28 年 10 月 21 日(金)に、アビシニアコロブスの赤ちゃんが生まれました。

当園では、種の保存とモンキーワールド(サル類を集めた展示エリア)の充実のため、平成 25 年にアビシニアコロブス 2 頭をブリーディングローン(種の保存のため動物園同士での動物の貸し借り)にて搬入しました。(オスの“マルス”は東京都の上野動物園、メスの“リル”は鹿児島県の平川動物園より搬入)

それぞれ違う動物園からやってきた 2 頭ですが、お互いの相性は良く、二世誕生に期待していました。しかし中々子宝には恵まれず、気長にその日を待っていました。その中で 10 月 21 日の朝、メスのリルが真っ白な赤ちゃんを抱いているのを確認しました。

アビシニアコロブスは、顔を覆った白い毛とマントのような長い毛が特徴的なアフリカ産のサルですが、生まれた頃の赤ちゃんは全身の毛が真っ白です。これが日ごとに親と同じように黒い部分がでてきます。お母さんが赤ちゃんを大事に抱えているため、発見しにくいかもしれませんが、短い間しか見ることができない白い天使に会いに来てください。

アビシニアコロブス 個体情報

種 名:アビシニアコロブス
生年月日:2016 年 10 月 21 日(金)
名 前:まだ決まっていません。
性 別:まだ分かりません。
展示場所:モンキーワールド

父“マルス”

2003 年 8 月 19 日生まれ

2013 年 12 月 2 日搬入

母“リル”

2011 年 9 月 24 日生まれ

2013 年 10 月 26 日搬入



2016 年 10 月 24 日撮影

アビシニアコロブスについて

オナガザル科コロブス属のサル類で、東アフリカの大部分の地域に生息しています。亜熱帯地帯や森林、樹木の生えた草原地帯の樹上で暮らしています。体毛は白と黒で、顔とお尻は白い毛で囲まれ、U字型のマントのような白い毛が体の側面と背面を覆っています。白と黒のコントラストが美しく、この組み合わせは深い森の中では見つかりにくいので、天敵から身を隠すことができます。

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画(株) 業務部 山口・中嶋・前田・白石

TEL 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>